

**第 27 回クライミングコンペオール神奈川および第 7 回ボルダリング神奈川カップ  
開催におけるコロナ対策について**

**【1】大会を開催するにあたりコロナ感染対策協力をお願い**

大会への参加に際し、感染拡大の防止のため、遵守すべき事項に対して協力をお願いします。

これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることをご承知願います

- 1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（競技会当日に確認を行う）
  - a. 体調がよくない場合（例：発熱 37.5 度以上・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - b. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - c. 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 2) マスクを持参すること。  
（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。）
- 3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 4) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ 2 m を目安に(最低 1 m))を確保すること。  
（介助者や誘導者の必要な場合を除く。）
- 5) 競技中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- 6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- 7) 大会の終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

**【2】大会に関わる全ての方(参加者/保護者/同伴者/役員関係者)の当日の対応事項**

1) 体調の確認

大会に関わる全ての方は、以下の健康チェックシートに記録を記入し大会当日に受付に提出をお願いします。

- a. 大会 2 週間前健康チェックシート

2) マスク等の準備

大会運営中および施設利用時は、マスクの着用をお願いします。

マスクを頻繁に着脱する行為およびマスクの放置が感染の契機になる可能性があるため、マスク着用の状態を維持願います。

なお、競技実施中は主催者判断によりマスクを外しても可とします。

また、マスクを着用しての準備運動やウォーミングアップを行った場合、十分な酸素を取り込めず呼吸困難や熱中症、その他身体へのリスクが高くなることがあります。息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外し休憩を取る等、無理をしないでください。

3) 大会参加前後の留意事項

競技説明や大会進行説明においても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮をお願いします。

4) 大会参加者と同じく会場入りする引率者（保護者/同伴者）について

- a. 引率者は、選手 1 名につき原則 1 名でお願いします。

(密を避けるため、できるだけ少数での参加をお願い致します。)

5) アプリケーションの登録など。

① イベントに参加する方が登録する LINE アプリ

添付ファイルの2次元バーコードをスマートフォンで読み込んで登録をお願い致します。

当日受付でも確認させていただきます。

② 厚生労働省が推奨する新型コロナウイルス接触アプリ

こちら合わせてご利用ください。

**新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) COVID-19 Contact-Confirming Application**

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

### 【3】大会参加者が運動を行う際の留意事項

大会参加中に留意点や施設利用で遵守すべき内容について

1) 十分な距離の確保

- a. 運動の種類に関わらず、運動をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること。(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)
- b. 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること。
- c. 感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けること。

2) 位置取り

走る・歩く際には、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。

3) その他

- a. 運動・競技中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
  - b. タオルの共用はしないこと。
  - c. 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。大皿での取り分けや回し飲みはしないこと。
  - d. 飲みきれなかった飲料水等は路上に捨てずに持ち帰ること。
  - e. 自分で使用した出たゴミは持ち帰ること。
- 4) 競技の際には、粉チョークと併用して液体チョークの利用をお願いします。アルコールが含まれており、十分な検証はできていないものの抗ウイルス効果が期待されます。

### 【4】選手としての留意事項

1) 今大会は、感染防止としてロープは選手個人のものを使用しますので持参ください。

- a. ロープは、シングルでPSC、EN892、UIAAに適合していること。長さは40m以上とする。
- b. ロープの径は呼び径9.0mm~10.2mmとする。(6月30日付 [IF基準](#)による)
- c. 同一チーム、家族間でのロープの共有は認める。

2) 競技中の留意点

- a. 選手は、ウォームアップ、アイソレーション、コールゾーンにおいて主催者の指示に従って待機しウォームアップを行う。ウォームアップ前後に手の消毒を行う。
- b. コールゾーン、トランジットゾーンなど待機場所では椅子に座る際にタオルを敷くこと。
- c. マスクの着用においては熱中症に気を付けて、距離を保ち適宜着脱する。
- d. チョークは、液体チョークを推奨する。

e. 競技中は、マスクを外して登ることができる。  
遵守事項が守れない場合は、会場より退場していただきます

#### 【6】山岳スポーツセンター利用時の注意点

##### 1) 洗面所

- a. 手洗い場所にある石鹸を使用できます。
- b. 「手洗いは 30 秒以上」を徹底してください。
- c. 洗面所は 4 基のうち 2 基のみの使用になります。

##### 2) トイレ

- a. 和便器は飛沫防止のため利用しないでください。
- b. 洋便器を使用後は蓋を閉めて汚物を流してください。
- c.

#### 【7】はだの丹沢クライミングパーク利用時の注意点

##### 1) トイレ

- a. 館内のトイレは役員・選手のみ使用可。
- b. 同伴者その他は会場下のトイレを使用してください。

#### 【5】その他の留意事項

大会主催者は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日に大会に関わる全ての方より提出を求めた情報について、保存期間（少なくとも 1 か月以上）を定めて保存します。